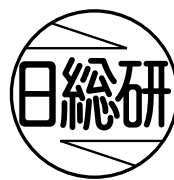




少ない人数、限られた時間でできる!



外来から始めるACP ～日常の“一言”でつなぐ看護力～ 外来看護ならではの!の技&アプローチ

※講義時間:約3.5時間

東京女子医科大学病院

- 山崎千草氏** 総合外来センター 急性重症患者看護専門看護師
- 内田邦子氏** 医療連携・入退院支援部 慢性疾患看護専門看護師
- 石井奈三氏** 医療連携・入退院支援部 在宅看護専門看護師
- 藤井淳子氏** 総合外来センター 医療連携・入退院支援部 看護師長/家族支援専門看護師

録画配信 [視聴期間]
オンライン **約2週間** 22年11/15(火)から
視聴可能になります。

※申込締切:23年1/10(火)

参加料 一般 **13,000円** 会員 **10,000円**
税込 ※講義時間約3.5時間の録画配信セミナーです。
※PC/タブレット/スマートフォンなどインターネット環境が必要です。

プログラム

はじめに 講師:藤井淳子氏

なぜ外来でACPが難しいのか? 外来だからこそそのACPがある。

領域別ACPにつなげる効果的「一言」とその背景

- 1. 急性重症患者** 講師:山崎千草氏
救急、急性期の場面。泣き崩れている家族や動揺している家族。本人の意向が確認できない状況で外来でかける一言は?
- 2. 慢性疾患患者** 講師:内田邦子氏
悪化と改善を繰り返しながら穏やかに状態が変化する。そもそもいつからが終末期なのか。ACPのタイミングは? きっかけの一言は?
- 3. 在宅療養患者** 講師:石井奈三氏
ACPを進めて終診にしたのにまた外来に? 認知症、高齢で杖歩行患者。在宅移行を進めるが、頑なに拒否。地域、病院、患者、家族がつながる一言は?
- 4. 家族支援** 講師:藤井淳子氏
患者の意向は家族と共有しておいてほしい。でも外来でいつも家族が一緒にいるわけでもない、時間もない。患者・家族とACPを進める一言は?

まとめ 講師:藤井淳子氏 きっかけは外来、主役は外来看護師

このセミナーはホームページからのみの受け付けとなります ▶ 日総研 174180 **検索**

関連雑誌

新・実践情報誌 [季刊]
(定期刊行物・会員制)

継続看護を担う体質強化
外来看護

B5判 128頁
入会金 3,000円
年間購読料
22,000円(共に税込)

在宅療養支援のスキルを高める!

- 今後の特集
- スタッフ個々の背景・特性に合わせた教育・支援 [秋号]
 - 外来での苦情・クレームマネジメント [秋号]
 - 在宅療養支援につなげる患者・家族向け教室の企画と運営 [秋号]
 - 患者本位で考える外来検査体制の見直し [冬号]
 - 外来における安心・安全マネジメント [冬号]
 - 様々なケースで学ぶ! 外来からの在宅療養支援 [冬号]

あなたのキャリアを
アップさせる看護の
最新情報を

Twitter #日総研



日総研 接遇大賞 優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。発表は11月。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞 **検索**

お問合せ TEL: **0120-054977** URL: **www.nissoken.com** 日総研 **検索**